

移動(交通)・観光業支援の視点での九州域内MaaS 活用策の提案 ～MaaSによる若年層の公共交通を活用した九州観光の提案～



大分大学経済学部経営システム学科交通論研究室

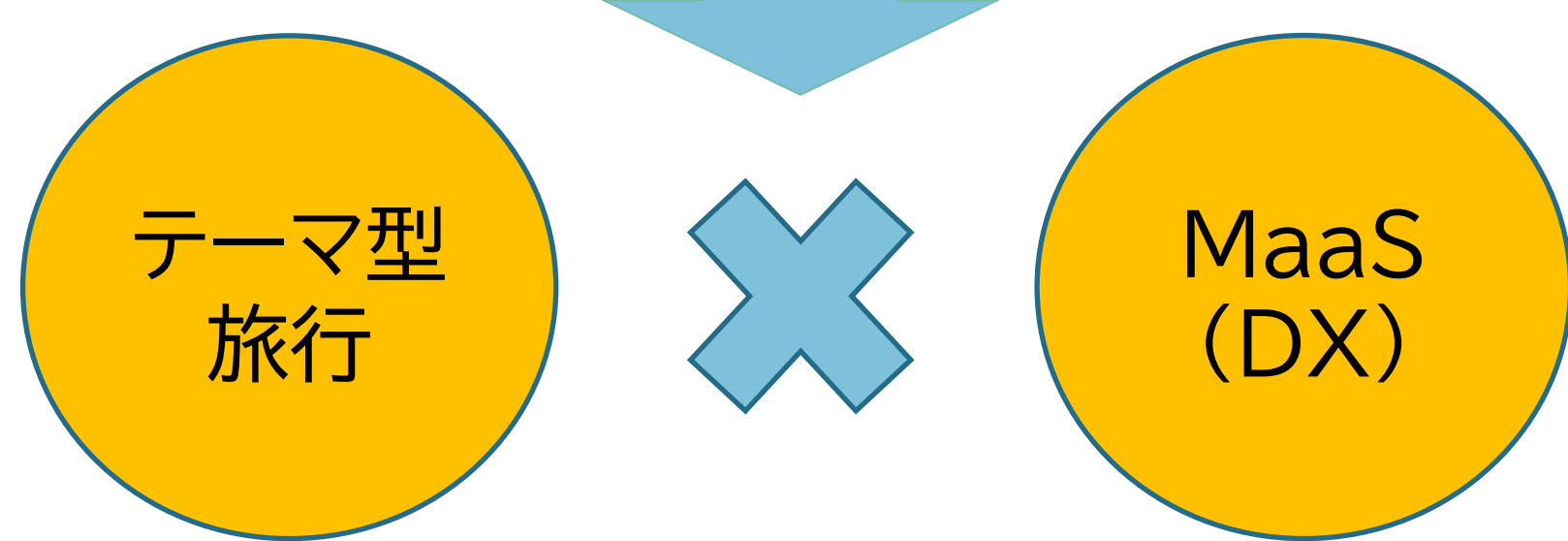
飯干颯太・下村昂平・杉田遥・
樋口祐己・松吉菜桜・真部和佳奈

大分大学経済学部門 大井尚司



背景と目的

- 現状① 旅行の計画を立てることが面倒に感じる層が多い
- 現状② 県を越えた移動手段の一括手配を行うサービスは整備中
- 現状③ 「個人旅行」「思い出に残る」が旅行のニーズ
- 現状④ 目的地を考えるきっかけはオンライン専門の予約サイト



- 九州の観光資源の認知度向上
- MaaS導入による利便性向上とリピート性向上
- データ化とその蓄積による利用者の動向把握
- コロナ禍で疲弊した交通事業者と観光業者、両方の支援

提案にあたっての留意点

①テーマ型の旅行とする

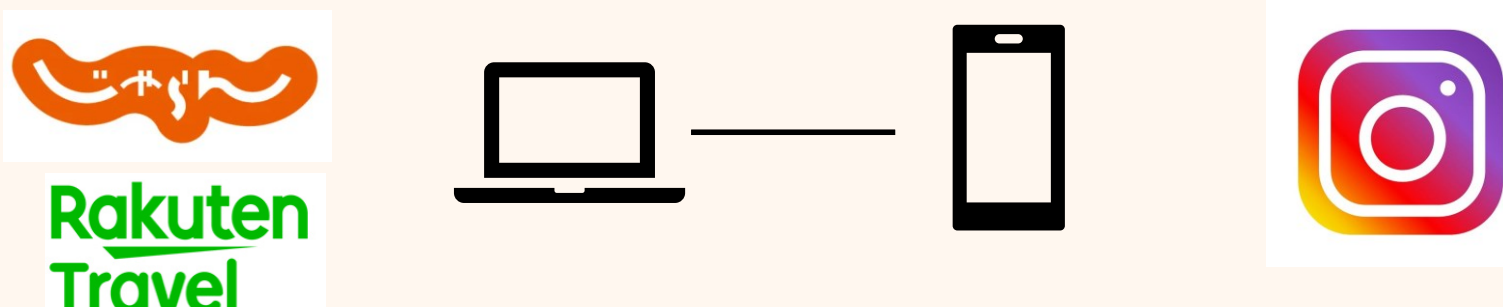
- 「〇〇ツーリズム」などのキャッチコピーの重要性
分かりやすいキャッチコピーで興味を惹くことができる
- コロナ禍で活動的な旅行に行けなかった客層の旅行手段としても提供
- 「旅のしおり」の自動作成
体験した旅行プランと旅行中の思い出をカタチにできる

②MaaSの予約機能向上

- 各地域のMaaSを統合させ、エリア拡大を図る
(九州MaaSへの期待)
- 交通機関や宿泊施設、観光施設等の手配を同時に行える機能の搭載
→ MaaSで一本化

③MaaSとSNSの紐付け

- 予約サイトの機能とSNSを紐付け、旅行の計画を立てる際の手間を省く
- 「旅のしおり」もSNS上で簡単に共有できる



具体的な提案内容

内容の詳細

- 特徴** 豊富な観光資源をテーマとして打ち出し、九州の広域を観光・体験できる旅行
- ターゲット** 3大都市圏在住の20歳前後の若者
- 目的** 公共交通の利用促進、九州観光のきっかけ作り
- ルール** 2県以上で、日数は1泊以上、移動は原則公共交通利用
- メリット** 交通機関、宿泊施設、観光施設等の検索、手配、決済が一括でできる

操作イメージ

PCのブラウザ・スマートフォンアプリ等で旅の予約や観光地の情報閲覧が一括で可能となる

①テーマ選択
予約画面にて出発地、帰着地、テーマを選択
⇒利用者の好みに沿った旅行プランと交通手段を表示

②ルート選択
アクティビティや観光スポットが一覧で表示
⇒チェックを入れるだけでルートに追加可能

③宿泊地選択
宿泊施設が一覧で表示
⇒チェックを入れるだけで予約可能

④旅のしおり作成
選択を終えると「旅のしおり」が自動で作成
⇒時間変更やメモ記入の機能を搭載
⇒「確定する」を押すと予約完了

ルートの紹介と「しおり」についてのイメージ図

大分熊本旅行
～大人の修学旅行～
移動経路
1日目
大分空港 → 大分駅 → 大分市街地
2日目
阿蘇小旅行 → 阿蘇山 → 阿蘇市街地
3日目
熊本市内 → 熊本空港

⑤旅のしおりの共有
旅行後、SNSに画像や「旅のしおり」を共有可能
また、他の旅行者が同一の旅行を参考にすることも可能

- MaaSの機能向上により、手軽に旅行計画・準備が可能
- 「旅のしおり」の機能で、自分に合った旅行の実現

効果

- 苦しい状況にある観光業界や公共交通機関を救済する一助となる
- 旅行者が作成したコースを「旅のしおり」によって容易に共有でき、他の旅行者がプランを作成するハードルが下がる
- MaaSの整備により本プラン利用者だけでなく九州在住者の移動も容易になる
- 九州は公共交通機関の利用だけでも簡単に旅行できるというイメージを定着させ、リピーターの獲得を図る
- 蓄積されたデータからMaaS利用者の動向を把握し、今後の誘客プランを検討できる

まとめ

「目的と移動の一体的な検索・手配」を実現

MaaSの導入により、県をまたぐ旅行においても、交通機関や宿泊施設、観光施設等の手配を同時に行うことが出来、旅行者の手間が軽減される

九州への旅行を身近にし、リピーターを獲得

九州の豊富な自然資源や「旅のしおり」の機能から、九州について知る機会を増やし、プロジェクトの持続性を持たせる

地域の足の保護

MaaSの機能向上により、公共交通の利便性が高まる